



# 二十六聖人

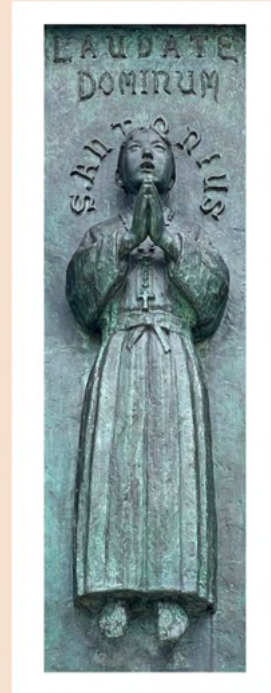
## 日本二十六聖人殉教者



いばらぎ  
聖ルドビゴ茨木

9、最年少。京都のフランシスコ会修道院で侍者。司祭が逮捕されたとき彼は除外されたが、自ら願行列に加わった。刑場で「私の十字架はどこ」と尋ねた。12歳。尾張生まれ。

## 日本二十六聖人殉教者



聖アントニオ

10、父は中国人、母は日本人。マルチノ神父に京都へ連れ来られ、他の青年たちと共に教育を受ける。刑場で嘆く両親に、慰めと励ましの言葉をかける。13歳。長崎生まれ。

9月号の巻頭言は、夏休みで二俣川教会に帰っていたらナン助祭にお書き頂きました。  
Ubi Caritasからはじまり、9月の祝日や日本の殉教者たちについて共に味わいましょう。

**「神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください。」（ヨハネの手紙一 4・16）**

「いつくしみと愛のあるところ、神ともに」という「Ubi Caritas」の聖歌の歌詞があります。この曲は、8月17-18日に二俣川教会主催で行われた子どもたちの夏企画で歌った曲の一つです。1日目の夕の祈りの時間に、テゼの祈りの形でみんなで祈り、この曲を歌いました。この曲は歌詞が短く、神学院でもよく讃美歌として歌っていたので、歌詞を覚えていましたけれど、皆と一緒に繰り返し歌って、静けさの中で子どもたちの歌声を耳にした時、すごく感動しました。短い歌詞ですが、本当に意味深い曲です。この曲をよく読んで、よく歌って、よく聞いて、よく祈ることは勿論ですが、自分に対しての神の優しい呼びかけでもあり、励ましでもあると実感しました。

さて、新たな9月を迎えて今、皆様と一緒に神の愛について考え、神の愛を学び、神の愛を身近に感じ、そしてその愛を証ししていきたいと思います。というのは教会典礼暦において、9月には「十字架称賛」のお祝日があります。その日は、単なる木の十字架を称賛するためだけではなく、イエスの手足が打ちつけられたその十字架を通して私たち人類に対して示された神の愛を讃え、感謝する日でもあるからです。「神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください。」（ヨハネの手紙一 4・16）と使徒ヨハネが手紙をもって私たちに教えてくれました。「神は愛で

す」という言葉は一見すると抽象的な意味合いを持っていると思われるかもしれませんが、実は、「神は愛です」の「愛」は、既にキリストによって具体化されたものです。その神の愛は「ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛された（ヨハネ 3・16）」というアガペーの愛です。そのアガペーの愛の神は、人間である私たちを永遠のいのちへと導くためにご自分の最愛の子イエス・キリストを惜しみなく与えてくださいました。従って、私たちの救い主イエス・キリストは「神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」（フィリピ 2・6-8）のです。だからこそ、十字架を見上げる度にわたしたちは、単なる残酷な処刑を見るのではなく、その十字架を通して人間に対する神の愛を身近に感じる事ができるのでしよう。「愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください。」（ヨハネの手紙一 4・16）。愛にとどまるということはその愛を知り、その愛を実感し、その愛を身に着けて、その愛に満たされて、その愛を生きていくことだと思います。そうした人は神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまってくださいなのです。

9月には日本の殉教者たちを記念する日が2つあります。それは日本 205 福者殉教者（9月10日）と聖トマス西と 15 殉教者（9月28日）です。彼らは私たちの祖先でもあり、私たち日本教会の信仰の初穂でもあるの

です。彼らは神の愛を知り、神の愛を学び、神の愛を豊かに生きました。なぜなら、彼らはいのちさえも惜しみなく、自分たちの血を流して、最後まで信仰を固く守ったからです。私たちに生き生きとした愛の証しを残してくださったのです。

9月に十字架称賛を記念するにあたって、あらかじめ神の愛を知り、神の愛を学び、

神の愛を感じて、そして、その愛を行動をもって証ししていくことができますようにお祈りいたします。私たちの先祖であり、二俣川教会の守護の聖人でもある日本二十六聖人殉教者をはじめとした日本の殉教者たちの模範に倣い、殉教者の取り次ぎを願いながら、共同体として歩んでゆきましょう。

ペトロ ホアン ドウック・ナン助祭

\*\*\*\*\*

### 「ひとこと寄稿」あなたにとって守護の聖人とは？

7月の神父様の守護の聖人のお祝いから始まり、私たちも守護の聖人を互いに祝い合い、自身の洗礼を思い起こし、初心を大切に歩いていくという招きに応える小さな1歩として“ひとこと寄稿”を募集しました。皆さんにとっての守護の聖人とはどんな存在でしょうか？ご寄稿くださった皆様、ありがとうございました。

聖書の中の女性から、と両親が選んでくれました。イエス様が「マルタ、マルタ」と2回呼んで下さったことが嬉しいです。

守護の聖人は、私にとって神様と私との心の距離を見守る大事なバリアー。

My Patron Saint・・・  
My spiritual inspiration  
of all time！

マリア様はあまりにも謙虚な方なのに、あまりにも偉大な方！イエス様の母親としてのあなたを、私は尊敬します。

12才で神様と出会い、15才で受洗した私に祈りを教えてくれたドミニコ会第三会員のマリア・ローザを選んだのは必然でした。

聖ベネディクト…毒入りの食物をいただく前にお祈りをしたら容器が割れ、命が助かったのを聞き、食事の前には必ず感謝のお祈りをしています。幼児洗礼なので自分で選んだのではない。公教要理の時に教わって、習慣になりました。

幼児洗礼なので自分で選んだのではなく、頂いた守護の聖人ですが、大人になって学ぶと、その聖人は私に足りないことを気づかせ、補ってくださる親友のような存在でした。



2024年8月 (8月4日開催)

## 【検討事項】

### 1. 敬老の集い

9月15日(日)に敬老の集いを予定しています。取りまとめのH副委員長から集いの内容や準備状況について報告がありました。

### 2. 2024年バザーの検討

年末福祉献金の時期にバザーを実施する検討を開始しました。5月に実施したバザー・アンケートや教会委員会でのバザーに関するフリー・ディスカッションをもとに教会委員有志がバザーのコンセプトを考えます。大まかな企画が固まったら、特定の方に負担が偏らないように必要な作業を細分化して個々の作業についてスタッフ・ボランティアを募集します。みんなが協力しあって楽しいバザーを作り上げましょう。

## 【フリーディスカッション】

「教会に集うことをもっと魅力的にするには？」をテーマにフリー・ディスカッションを行いました。主な意見は次のとおりです。

「ちょっとした遣り取りや何かの準備でも教会らしさがないと教会の魅力はない。」「聖書勉強や社会問題を話す集い、キリスト教講座のフォローアップに魅力を感じる。」「この教会は忙しい30代から50代がぽっこり抜けている。子どもや高齢者だけでなく壮年の悩みも聞いてあげるのが魅力になる。」

「働いている人が集うのは難しい。時間のあ

る60代以降をターゲットにしたら。」「仲間がいるんだ、という居場所になること。」「ミサ後の30分は人と触れ合うためにとっても大切。他の仕事を遅らせてでも触れ合うような空気感が欲しい。」「見知った人が声をかけてあげると久しぶりに来た人は来やすくなる。」「新信徒は面倒見の良い人を2、3年つける。」「教会に来て飲み食いも大切」

「ミサ後、前庭に引き留める。」「子供にここが居場所と感じてもらおうと一旦離れても友達がいるから繋がりを取り戻しやすい。また、親が繋がっていれば子供も戻れる。」

「高齢者は座って話したい。ベンチを増やす。」「迎えがあれば教会に行きたいという人もいる。」「顔と名前が一致しないと一歩踏み込んで仲良くなれない。名札は交わりの助けになる。」「ちびっこ向けの英語に触れる機会があると魅力を感じる。」「ミサ後に歌のクラスがあると魅力を感じる。」「外国人で友達の居ない人、日本語が話せない。インターに招いて英語で話した。」「教会の魅力を伝えるSNSを作ったらどうか。」「知見のある人でワーキンググループを作って取り組んで欲しい。」「来ていない人はお客様ではない。そこまで手厚くする必要はあるか疑問。」「誰かに頼られるのは魅力がある。半面、頼られ過ぎると辛い。その中間が良い。必要だから来て欲しいという呼び掛けが少ないのでは。」

## 【その他の検討・報告事項】

### 1. 典礼委員会

- ・ベネディクション(聖体賛美式)毎月第1木曜日 19時より行います
- ・水の祝別 毎月第1日曜日 10時ミサの中で行います。

### 2. 教会学校

8/3 夏休みお楽しみ会に参加した子供 22名。多くの青年、リーダーに助けて頂きました。有難うございました。

### 3. キリスト教講座

- ・キリスト教講座委員会を 7月 27日開催しました、次回は 8月 10日開催予定です。
- ・第4回フォローアップ講座(最終回) 8月 28日 10時ミサ後に開催予定です。

### 4. 財務委員会

半年毎の決算を 9月教会委員会に報告予定。

### 5. 広報委員会

9月号原稿依頼。ひとつこと寄稿、ホッとトピックス説明。

### 6. 福祉委員会 特になし。

### 7. 建物管理委員会

2.5m×2.5mの軽量テント2台を購入しました。

### 8. 共同墓地委員会

7/7(日)共同墓地管理委員会議。テーマは上大岡共同墓地の今後の運営について。

### 9. ヨゼフ会

- ・7/28 定例会実施。9/1 定例会予定。
- ・8月はコーヒー光の実施なし。9/29から再開予定。

### 10. マリア会

- ・報告  
アンナ会 7/8、7/22 に活動  
ステラマリス帽子を編む会 7/19、7/25 に活動  
ボリビア支援グループ 7/25 に活動

パーティー係 7/20、7/21 に活動(パーティー準備および実施)

- ・予定  
マリア会運営委員会第五回会議 日時未定  
アンナ会 8月は活動なし。  
ステラマリス帽子を編む会 8/16、8/22 に活動予定  
ボリビア支援グループ 8/18 のんびり日曜日(教会売店の場所を借りて実施)  
パーティー係 敬老の集いの為の会議を 8月末に行う。日程未定。

### 11. 青年会

- ・8/4 教会学校お楽しみイベントに青年7人がお手伝いしました。初めて会う子供たちも含めて楽しくつながりを持つことができました。
- ・8/17~18 中高生夏合宿企画では、第三地区の小5~高校生 16名ほどが参加予定。日曜日に早めに後片付けして茅ヶ崎教会を訪問しますので、ご協力お願いします。

### 12. インターファミリー

- ・7/27 にミーティング実施。8/24 にミーティング予定。
- ・9/29(日)に「インターファミリーデー」を行います。当日の企画は次のとおりです。10:00~インターミサ、11:00~講演会、13:30~懇談会

### 13. 一粒会

- ・献金対応 7月 28 実施しました、次回は 8月 25 日に予定。
- ・一粒会大会(10/14 於: 松本教会)二俣川教会からの信徒の参加応募者はありませんでした。姜神父様が担当司祭として参加されます。

以上



## 皆で祈りましょう

9月1日からは、すべてのいのちを守る月間（～10月4日）、9月15日は、祖父母と高齢者のための世界祈願日です。すぐ近くの友人、遠くの友人、年齢差のある友人のために祈りましょう。

### 友のための祈り

かみ 神よ、わたしは <sup>こころ</sup> から <sup>とも</sup> 友のために <sup>いの</sup> 祈ります。

わたしが <sup>とも</sup> 友と <sup>かた</sup> 語り <sup>あ</sup> 合い、<sup>こうい</sup> 好意 <sup>たす</sup> をもって <sup>あ</sup> 助け <sup>あ</sup> 合い、

<sup>たが</sup> 互いに <sup>そんけい</sup> 尊敬 <sup>あ</sup> し <sup>あ</sup> 合う <sup>あ</sup> ことができる <sup>みちび</sup> ように <sup>め</sup> 導 <sup>そそ</sup> いて <sup>あ</sup> ください。

キリストよ、わたしの <sup>とも</sup> 友 <sup>うえ</sup> の <sup>め</sup> 上 <sup>め</sup> に <sup>め</sup> いつ <sup>め</sup> づ <sup>め</sup> く <sup>め</sup> し <sup>め</sup> み <sup>め</sup> の <sup>め</sup> 目 <sup>め</sup> を <sup>め</sup> 注 <sup>め</sup> い <sup>め</sup> で <sup>め</sup> ください。

あなたを <sup>とお</sup> 通 <sup>あ</sup> して、<sup>あ</sup> わ <sup>あ</sup> た <sup>あ</sup> し <sup>あ</sup> た <sup>あ</sup> ち <sup>あ</sup> が <sup>あ</sup> ま <sup>あ</sup> こ <sup>あ</sup> の <sup>あ</sup> 友 <sup>あ</sup> 情 <sup>あ</sup> を <sup>あ</sup> 持 <sup>あ</sup> ち <sup>あ</sup> 続 <sup>あ</sup> け <sup>あ</sup> る <sup>あ</sup> こ <sup>あ</sup> と <sup>あ</sup> が

できる <sup>あ</sup> よう <sup>あ</sup> に <sup>あ</sup> 支 <sup>あ</sup> え <sup>あ</sup> て <sup>あ</sup> て <sup>あ</sup> ください。

（「カトリック祈禱書 祈りの友（改訂新版）」 より



\*\*\*\*\*

## 二俣川教会 ニュース

- 8月3日(土)に、教会学校主催の「夏のお楽しみ会」が開かれました。また、17日(土)～18日(日)には、青年会が準備した第3地区の小5～高3を対象とする「夏企画」が行われました。企画した団体だけでなく、共同体の皆さんのご協力あって実現した企画に神様のお恵みを感じます。
- 8月6日～15日はカトリック平和旬間ですので、聖ヨハネ・パウロ二世の平和の祈りを先月号(8月号)に掲載しました。6日と9日の原爆記念日、さらに15日の終戦記念日は皆が平和の為に祈る日ですし、同日は聖母の被昇天の祭日のごミサが行われました。9月もこのページの「皆で祈りましょう！」を参照しながら、皆さまで心を合わせてすべてのいのちの為に祈ることができたらと願っています。
- 9月15日、10時のごミサの中で『敬老のお祝い』が催されます。二俣川教会では77歳以上の皆様を敬老のお祝いの対象とさせていただき、対象の皆様には既にお手紙でご案内しております。当日は、共に主の日のごミサを捧げ、喜びと感謝のうちに祝いしましょう。特に喜寿の77歳と米寿の88歳の皆様は特別なお祝いです。ミサ後には、2階集会室に軽食と共に歓談していただけるスペースをご用意しています。(敬老対象の方々のみ参加可、自由席)。様々な団体が力を合わせて、共同体の、そして信仰の先輩である皆様に感謝し、変わらぬご健康をお祈りしながら準備を進めております。

# ホッとトピックス

## 聖体賛美式を知ろう！

コロナ禍で中止され、この8月から再開した聖体賛美式(ベネディクション)について掘り下げてみました。聖体賛美式は、聖体降福式やベネディクションとも呼ばれます。ベネディクションとはラテン語で祝福という意味がある言葉で、「パンのかたち」の聖体を顕示して礼拝し、その祝福を受けるカトリック教会の伝統的な儀式です。

——それは、聖マリア・マルガリタに現れたイエス様の指示による典礼ですが、毎月第1木曜日の夜に行われるものです。その典礼が始まると、司祭は祭壇の上に太陽の光を表わす形の聖具、聖体顕示台(ラテン語でオステンソリウム=Ostensorium)を置き、その中にご聖体を安置します。それから、1時間ぐらい、色々な祈りなどを唱え、また、沈黙の中でそのご聖体を仰ぎ見ながら、イエス様の愛と慈しみを默想します。そして、最後には「聖体祝福」をいただきます。その典礼の中でイエス様は、わたしたちの愛に渴いておられるイエス様の<sup>みこころ</sup>聖心にわたしたちを導き、また、様々な罪の中でもその重さに気づかず、儀式的で習慣的にご聖体をお願いしたりするわたしたちを新たにしてくださいます。この三年間、新型コロナウイルスのために中止していましたが、その聖体賛美式が再開されたら、イエス様がわたしたちの心をご自分の<sup>みこころ</sup>聖心と一致させ、再び燃え上がらせてくださるよう、願っております。(2023年6月号『二十六聖人』巻頭言より一部引用)——

日々のごミサでは"ご聖体を拝領する"ということだけで終わってしまいがちなわたしたちです。しかし、この聖体賛美式の聖体顕示によって、あらためて御聖体と向き合い、崇敬することが出来ます。そしてわたしたちは、イエス様の<sup>みこころ</sup>聖心の意味を悟り、その<sup>みこころ</sup>聖心との一致を頂くことにも招かれるのです。祭壇の真ん中の顕示台に聖変化された御聖体が安置され、会衆がともに賛美し礼拝する聖体賛美式は、わたしたちが自らの信仰を顧みながら沈黙の中で深く祈ることが出来る、信仰の原点とも言える大切なひとときなのではないでしょうか。毎月第1木曜日の19時、ぜひ教会に集いましょう。



世界難民移住移動者の日にあたって  
お話を聞きますか！

日時:9月29日(日) 10:00のミサ後  
11:30~13:00

講師:アルペなんみんセンター理事  
有川憲治氏

- 内容:①有川さんと難民の出会い  
②アルペなんみんセンターとは?  
③当事者に寄り添い感じる事  
④私たちにできることは?

場所:カトリック二俣川教会

★講演後

13:30~14:30

- ・講師を囲んで懇親会を2Fで開催。
- ・軽食・ドリンクをご用意します。

・どなたでもご参加下さい！



★他教会の方はQR  
コードからの申し込み

主催:カトリック二俣川教会  
インターファミリーグループ  
問い合わせ:241-0821 横浜市旭区二俣川2-36  
☎045-391-6296  
office@futamatagawa-cc.com  
カトリック二俣川教会

二俣川教会インターファミリーグループとして、小教区にとどまらず社会的に弱い立場の方に目を向けて何かできることがないか探ってきました。ご縁あって、メンバーでアルペなんみんセンターを訪ねて入居されている方々とも触れ合う中で、私たちにできることは、感じた事を多くの方にも知ってもらうことではないかと思い、講演会を企画、実施いたします。世界難民移住移動者の日にご一緒に話を聞いて、語り合いませんか？青年層も大歓迎です！皆さまのご参加お待ちしております。

インターファミリーグループ



# きょうかいがっこうだより

カトリック二俣川教会 教会学校  
2024年8月

## 【9月の予定】

・9月1日 <sup>よてい</sup> <sup>きょうかいがっこう</sup> 教会学校 2学期スタート

時間は小中高生クラス 9:00～、幼児クラス 9:15～です。

・9月15日 <sup>きょうかいがっこう</sup> 教会学校

## ♪ご報告♪ なつのおたのしみかい がありました♪

教会学校では、8月3日(土)「夏のお楽しみ会 “地の塩、世の光”」を開催いたしました。総勢 26 人の子どもたちが教会に集い、共に豊かな時間を過ごすことが出来ました。当日の様子をご紹介します♪

(写真1～5)

水遊び・手作りのお昼ごはん・クラフト活動、そしてごミサと盛りだくさんの一日でした。イベントの開催にあたって神父様をはじめ、大型のプールを貸し出してくださった方、お台所でのご奉仕をしてくださった方々、子どもたちのサポートに入ってくださった青年会など、多くの信徒の皆様がお力添えくださいました。また教会で新しく買っていただいたテントは水遊び中の日除けとして、プロジェクターは休憩時間での短編映画の上映に使わせていただきました。日々子どもたちの成長を共にあたたくお見守りくださり、改めて感謝申し上げます。一層絆を深めた子どもたちが、再び仲良く集う教会学校でありたいと思います。二学期もどうぞよろしく願いいたします。†

# 『<sup>オ</sup><sup>ラ</sup>Hola! ここにいるよ! ~わたしはあなたがたを友と呼ぶ~』

## 二俣川教会主催 第3地区の夏企画を終えて

8月17日と18日の2日間で、『Hola! ここにいるよ! ~わたしはあなたがたを友と呼ぶ~(ヨハネ15:15)』をテーマに行った第3地区の夏企画についてご報告致します。小学校5年生から高校3年生までを対象としたこの企画は、二俣川教会・保土ヶ谷教会・港南教会・末吉町教会・山手教会の子どもたち17名と、二俣川教会・保土ヶ谷教会・港南教会のスタッフ9名、そして2人の助祭と姜神父様と共に、無事に開催することができました。

### Day1

最初の企画は、お昼ご飯のメニューであるベトナム料理「ブンティットヌン(焼肉のせじなしそうめん)」の具材を勝ち取るための班対抗バイブルクイズ! 二俣川教会のJくんの素晴らしい絵を使って、聖書のどの場面か、この時イエス様がおっしゃった言葉は?などを当てるゲームを行いました。クイズの後は、勝った班から好きな具材を選べる中、班のみんなが美味しく食べられるように“嫌いなものはある?”など、子どもたち同士で声を掛け合う姿が印象的でした。二俣川教会のRさんのご協力で、美味しいお昼ご飯を頂くことができました。

昼食後は1回目のわかちあい。「価値観カード」を用いて、自分の価値観ってなんだろう?自分が大事にしていることはなんだろう?と、自分の内面について深掘りし、あらためて知る機会を持ちました。その後、お風呂(さくら湯)に入りに行き、夕食はボランティアの方々で作ってくださったカレーライスでした。お風呂送迎や食事作りをしてくださった皆さんは、スタッフの親や青年や教会学校元リーダーの方々に、夕食は共に食卓を囲み、新たな出会いが生まれ、とても素敵な時間となりました。

夕食後は2回目のわかちあい。1回目のわかちあいをヒントに、今度は班の友だちと自分の同じところや違うところをお互いにじっくり目を合わせながら話し合う機会を設けました。20秒間見つめ合う時間は恥ずかしくて照れながらも、話しているとあっという間で、普段とは違った形で互いの距離を縮めるきっかけとなりました。

1日目最後の企画は花火。夏の風物詩と共に子どもたちのはしゃぐ姿、キラキラと輝く瞳が印象的でした。そして聖堂での夕の祈り。1人ひとつ置かれた口ウソクを見つめる瞳もまた輝き、1日を振り返り、テゼを歌って1日目を無事に終わられたことを神様に感謝しました。

### Day2

2日目の朝は早く、朝食を食べて8時には二俣川教会を出発し、茅ヶ崎教会へと向かいました。茅ヶ崎教会ではまず3回目のわかちあい。「自分にとって友だちとは何か」というところからはじめ、サブテーマとマザーテレサの言葉をもとに、イエス様の友達になるには“わたしたちがわたしたちである”だけで、そのまま良いというメッセージをわかちあいました。

その後、茅ヶ崎教会の韓<sup>ハン</sup>神父様にご挨拶をしてから海に向かう予定でしたが、突然強い雨が降ってきたため、予定を変更して先に昼食を食べ、それから海に向かうことにしました。教会を出る頃にはすっかり雨も上がり、暑さも復活。海はヒンヤリとしていてとても気持ちよく、

子どもたちが心からはしゃいで、楽しんでいる姿を見ることができました。スタッフも工夫して子どもたちの安全をしっかりと見守りました。茅ヶ崎教会に別れを告げるタイミングで偶然、李廷胤<sup>イジョン</sup>神父様にお会いすることができました。

その後二俣川教会へ戻り、最後のわかちあい。ここではヨハネ20:19～23を読み、“福音のわかちあい”を体験しました。少し難しい内容となりましたが、福音を読み解いたり、福音の言葉の一部を入れ替えてみながら、御言葉は私たちの普段の生活にも通じているということを感じてもらえたと思います。そして“遣わされる”ことの意味についても話し、ここに集められた私たちは日常に戻ってもそれぞれの場所で聖霊に支えられながら、“遣わされている自分”を思い出しながら生活をしていきましょう！と話して終わりました。

最後の主日のミサでは、実際に祭壇(主の食卓)を囲む形でごミサを捧げ、共同祈願では1人ずつ感想や感謝の言葉を捧げました。第3地区のミサの平和の挨拶では、必ず1人ずつ握手をしながらぐるぐる回るのが恒例ですが、それを初めて経験する子も多かったようで、新鮮な形の平和の挨拶に「コレいい！」と興奮していました。そして、ミサの後にはスタッフから子供たちへの熱いメッセージタイム。最後は「Hola！またね！」の掛け声で再会を約束し、夏企画のすべてのプログラムを終えました。

今回の夏企画を準備するにあたり、私たちスタッフが1番大事にしたかったことは、子どもと大人の間世代の彼らに、昨年よりも充実したわかちあいの時間を用意して、自分の長所も短所も見つめ、じっくりと神様を感じてもらうことでした。また、同世代の教会の仲間との出会いの喜びを知ってもらいたい！という願いは昨年から大事にしてきたことです。もっと出来たのではないかと振り返る点も多くありますが、何よりも怪我や事故なく終わられたこと、昨年より多くの子どもたちの交わりの機会を作ることができたことを嬉しく思います。

当日の運転や食事準備、片付けのボランティアをしてくださった二俣川教会と保土ヶ谷教会の方々のご協力。そしてクッキー販売にて、子どもたちの参加費の負担が減るようにご協力してくださった皆さん。その他にも、祈りや励ましなど様々な形で援助してくださった方々に感謝致します。今回の企画は第3地区の2人の助祭、枇杷助祭とナン助祭に支えられたものでもありました。子どもたちとたくさん触れ合い、わかちあいにも参加してくださいました。そして、いつも私たちと共に歩み、導いてくださった姜神父様にも感謝申し上げます。子どもたちが、神様との繋がりと仲間たちとの繋がりの素晴らしさに気づき、それに支えられ、豊かに信仰の道を歩いていく手助けができるように、これからも青年一同頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました！

夏企画スタッフ一同



— ステラマリス帽子を編む会は今年、皆様に支えられて 10 周年を迎えます！ —

毎日暑い日が続きます。こんな暑い日にも、毛糸の帽子を編んでいる「ステラマリス帽子を編む会」のメンバーがいる事をご存知でしょうか？

二俣川教会の「ステラマリス帽子を編む会」は 2014 年 9 月 13 日に、マリア会の日イベント編み物講習会としてスタートしました。活動は今年 9 月で 10 周年を迎え、月に 2 回の活動日はスタートから先月の活動までで、157 回になりました。

メンバーは平均 10 名くらいですが、その参加のあり方も様々です。ミサ後から 13 時まで編み続ける人、御用があつて毛糸だけを持って帰る人、12 時頃から参加する人、帽子 1 個分にセットされた毛糸（執務室右側の棚に入っています）を持ち帰り、活動日に出来上がった帽子を届けて下さる人も、ステラマリスの箱の中に入れてくださる方もいます。参加方法は違っても、メンバー達は活動終了後には毛糸を念入りに選んで持ち帰り、家でも編み進めます。

11 月には編んだ帽子を、歯ブラシや固形石鹸や日本らしい小物などと一緒にプレゼントラッピングして、ステラマリス横浜の本部のある末吉町教会に納品します。ラッピングの時にも毎年のようにラッピングを手伝ってくださるメンバーの力を借ります。

昨年は帽子が、11 月で 180 枚だったので 180 個のプレゼントを本部にお持ちしましたが、今年はなんと 7 月現在で 280 枚を超える帽子が編まれています。すごい頑張りです。そのため、毛糸の在庫が少なくなっています。毛糸は全ていろいろなご縁で献品して頂いたものを組み合わせて編んでいます。もう編むことがない毛糸が有りましたら、是非寄付してください。

（お知らせくだされば取りに伺います。）また、その他にプレゼントの中に入れるものとして、歯ブラシ（ホテルのアメニティは入れることができません）、固形石鹸、フェイスタオル（日本手ぬぐいでも可）、日本のお土産のような物（手のひらに乗る程度の大きさの物、小さいこけしなど）も、お持ちでしたら寄付してください。多くの人たちのお力に支えられて、今年も 12 月に、横浜港に接岸する船の船員さんにクリスマスプレゼントをお届けしたいと思ひます。

ステラマリスの活動は、ステラマリス横浜の HP にアクセスしてください。詳しい情報が載っています。私たちが作った帽子の製図が 2018 年から掲載されています。

マリア会 K. M.

\*\*\*\*\*

**【編集後記】** 8 月には暑さの中、子どもたちや青年たちが楽しく有意義な時間を共に過ごしました。9 月は、教会を祈りと奉仕でずっと支え続けてくださっている年上の方々に感謝する集いが行われます。年齢や性別にとらわれずにイエス様の下に集まり、皆でキリストに倣って歩んでいく時、『二十六聖人』が少しでもお役に立てばと願っています。 (N. F. 記)